

研修事例

人材育成

支援先

県内中小企業（のべ21社）

次世代技術活用人材育成事業

【概要】

本事業は、県内中小企業の研究開発人材の育成を目的とし、平成28年度から実施しております。人材育成を課題に上げる企業は少なくありません。特に、「自社製品の開発を始めたい、増やしたい」「そのための人材を育てたい」という要望に対応し、競争力のある研究開発型企業の育成を支援するため、当センターは以下の3つの研修を実施しました。

①基礎課程

期 間：令和元年7月17日、24日、31日
（3日間 全9講義）

修了者：7社8名

内 容：研究開発に必要な基礎知識の修得



図1 基礎課程の様子

表1 基礎課程内容

コース	実施内容
共通カリキュラム	センターの業務紹介、知的財産、産学官連携など
開発設計者	自社製品開発事例、製品開発、プロジェクトマネジメントなど
マネジメント	市場とマーケティング、技術戦略、標準化など

②応用課程

期 間：令和元年10月1日から
令和2年1月31日まで
（5～10日間程度）

修了者：4社7名

内 容：中小企業等の技術課題を解決しながら開発手法を修得（4コース制）

表2 応用課程内容

コース	実施内容
CAE解析	解析・シミュレーション技術など
IoT活用	システム開発、センサー計測など
地域資源活用	加熱条件の評価、染色評価など

③設備活用コース

期 間：令和元年9月25日以降随時
（各設備 半日程度）

修了者：10社23名

内 容：研究開発に必要な操作技術の修得



図2 設備活用コースの様子

表3 設備活用コース内容

コース	実施内容
計測機器・材料試験	三次元測定機、3Dプリンタ、表面粗さ輪郭形状測定機、残留応力測定装置、硬さ試験機、スガ摩耗試験機など
分析機器・性能試験	蛍光X線分析装置、元素分析ユニット付走査型電子顕微鏡など
EMC試験機・宇宙関連機器	EMI機器、RFイミティ機器、電磁界可視化装置、耐ノイズ試験、通信環境評価装置など
射出成形機	射出成形機

【研修の成果】

平成28年度において応用課程のCAE解析コースを受講した太洋技研株式会社では、研修で習得したCAEによる強度解析技術を活用して電動式回転保管庫の改良に取り組みました（P.4参照）。

基礎となった事業

令和元年度 次世代技術活用人材育成事業

現在の担当グループ

IT・マテリアルG

グループ長

若生 進一

TEL:029-293-7482

主 任

中川 裕光

嘱 託

田畑 彰文

嘱 託

野上 卓也